

伊 議 会 だ よ り

い せ ん

第58号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷



平成30年4月29日 瀬田海浜公園 海開き

平成30年第1回伊仙町議会臨時会 (2月6日) 全議案

議案等	事項	備考
同意第4号	議会選出監査委員の選任同意	同意
議案第1号	平成29年度伊仙町一般会計補正予算第8号	原案可決
議案第2号	平成29年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第2号)	原案可決
同意第1号	伊仙町の教育長の選任	同意
同意第2号	伊仙町の教育委員の選任	同意
同意第3号	伊仙町の教育委員の選任	同意

平成30年第1回伊仙町議会定例会 (3月6~20日) 全議案

発議第1号	伊仙町議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
陳情第1号	バス通学生への通学費の助成について	継続審査
同意第5号	伊仙町農業委員会委員の任命の同意	同意
議案第3号	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	伊仙町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	伊仙町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	伊仙町国民健康保険条例一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	伊仙町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	伊仙町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	伊仙町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	原案可決
議案第10号	伊仙町義名山公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	平成29年度伊仙町一般会計補正予算(第9号)について	原案可決
議案第12号	平成29年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第13号	平成29年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第14号	平成29年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第15号	平成29年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第16号	平成29年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第17号	平成29年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第18号	平成30年度伊仙町一般会計予算	原案可決
議案第19号	平成30年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第20号	平成30年度伊仙町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第21号	平成30年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第22号	平成30年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	原案可決
議案第23号	平成30年度伊仙町簡易水道特別会計予算	原案可決
議案第24号	平成30年度伊仙町上水道事業会計予算	原案可決

以下余白

平成30年第1回伊仙町議会定例会において 平成30年度 伊仙町一般会計予算 他6特別会計予算審査特別委員会

(一部抜粋※委員長報告につきましては、町ホームページ「会議録」をご確認下さい。)

去る3月6日の本会議において、当初予算審査特別委員会が設置され、「平成30年度伊仙町一般会計他6特別会計予算」を付託し、3月9日～14日までの6日間の審査期間を以て、集中審議致しました。そのなかで、3月9日に委員並びに議長を含む14名と事務局職員2名、執行部からは大久保町長が同行し、現地調査を行いましたので主な項目について報告いたします。

●1件目は、「第2鹿浦橋下部工事請負費」について、特殊な鉄筋材料の使用や杭敷設業者の不足により遅れており早くても平成31年度末の完成との説明を受けました。

光ケーブル移設などにより工事が長期間になっており近隣住民からも早期完成を要望されましたので、事業期間についてはお知らせ看板等で利用者へのきめ細かい周知を行う事と早期の完成に向けて努力するよう要望しました。



第二鹿浦橋



面縄漁港堤防北



住宅建設予定地 (目手久地区)



伊仙町特産品加工工房

●次に、「面縄港湾施設災害復旧費」について、平成元年に建設された面縄港の北側防波堤が昨年の台風22号により、設計当初よりも大きな波浪が襲来し、倒壊したとの説明でありました。
これについては、倒壊している防波堤部分の復旧だけでなく、先端部分も含めた全体的な基礎部分の見直しや補強工事等も検討するよう要望しました。

●次に、「町営検福団地用地購入費」について、今後の建設予定地は目手久団地のよう道水路に接し外溝工事等の必要ない場所を選定する事や用地購入費は近隣の取引価格を参考に算定し、設計業務においては以前の設計を活用し、経費節減に努力する事や公営住宅明け渡し訴訟弁護士委託料については、今までに使用実績がないという事ですので、訴訟が必要な場合に予備費から利用し、この委託料は他の予算に使用するよう要望しました。

●次に、「特産品加工工房キ搬入口上屋根改修」について、完成後数年で改修費用が計上されていますが、設計段階で錆びない材料での施工が必要であったと思います。現在、緊急を要する状況ではないと思われるので「亜鉛メッキ加工」や木造など慎重に検討して改修する事と当初の計画通りの黒糖その他のスイーツ特産品製造販売、カフェ、宿泊施設などの事業展開を行うよう委託先へ要請するよう要望しました。



堆肥センター散布車



不法投棄現場 (伊仙崎)

●次に、「堆肥散布車購入費」について、車体の老朽化も進んでいます。同型のタイヤが生産終了したため使用できない状態であるとの説明を受けました。まだ1年は稼働できる状況との説明でしたので、次期購入の散布車においては、早急に購入する事なく時間をかけてタイヤ等部品交換に不安のないものを選定するように要望しました。

●次に、不法投棄についてですが、伊仙崎は十数年前まで海岸まで下る道があり、浜下りなどの集落行事や集落民の遊び場として賑わっていた場所ですが、現在では不法投棄により人が通れる道さえ無くなっていました。今後予定されている世界自然遺産登録を踏まえ、町内各所にある不法投棄箇所の清掃や、広報誌などを利用し町民への周知や意識改革をさらに推進するよう要望しました。

平成30年 第1回定例会

一般質問



牧 徳久議員

5期目に向け掲げたマニフェストの実現性は

問

町長は、未来創生へ更なる飛躍・生涯活躍のまちづくり「すべての町民が主役のまちづくり」をスローガンに掲げ、農業政策を中心に企業誘致、住宅建設による小規模校の存続等、多岐にわたり町民に訴えているが、今任期4年間で実現できるのか問う。

4期目同様、全力で実現を目指す

答

(町長) この4年間で達成できるといふ事で作成しました。4年前のマニフェストもほぼ実現しましたので、今回も全力で取り組んでいきます。

(※主な質問4項目について)

①なくさみ館の増改築は音響や夜間照明などの要望も含めて積極的に取り組めます。②航空運賃の値下げについては、地元民は58%割引が実現され、今後本土在住の出身者の本籍地割引等の拡大も検討していきます。③前泊港の改修(約70m)は、漁民からの切実な要望を踏まえ、過疎債を活用し、2年を目途に整備します。

(きゅらまち観光課長) ④小島の暗川、小原海岸などの隠れた観光資源整備について、今後徳

之島観光振興計画を策定し整備していく計画です。

各分野での早急な対策を

問

世界自然遺産登録を目前に、未だ町道や農道では空き缶等が投棄され放置されている。町民の意識改革はもとより、定期的な巡回と回収を目的とした人員を確保し、対策を講じる必要があると思うが早急にできるのか。また、奄美・徳之島(沖永良部経由)・沖縄間のホッピングルートなど新たな航空路線も予定され多くの観光客が来島すると思われるが、ホテル等の企業誘致は考えられないか問う。

答

(きゅらまち観光課長) 引き続き啓発やクリーン作戦を通じた美化活動に専念していきたい。定期的な巡回



オオアマミテンナンショウ

と回収については、予算を計上し検討していますが、住民のモラル向上にも期待しています。
（未来創生課長） ホテルなど宿泊施設の企業誘致には色んな観点から検討しています。本町としては「健康長寿、子宝、地域コミュニティ等」の魅力が高く、空き家等を活用した宿泊や30名程度受入れ可能な宿泊施設を目指す方が伊仙町の良さをアピールでき、リピーター的な集客に結びつくという事で検討を進めています。

徳之島子宝空港へボーディングブリッジを！

問

現在、徳之島子宝空港にはボーディングブリッジが無く雨天や悪天候の時など支障を期している。昨今の公共施設のバリアフリー化が進む中、車椅子を必要とする高齢者や障がいのある方々にとっても不便である。そこで、来年3月末をもって期限切れとなる次期「奄振事業」としての位置づけは考えられぬか問う。

徳之島3町一体となつての要望を

答

（未来創生課長） 本件については、徳之島空港利活用活性化協議会への要望となりますので、検討を進めて行きたいと思えます。また、徳之島3カ町議員大会等において、足並みを揃え、要望、提案していくのも手段だと考えられます。

農家への緊急支援対策を

問

昨年10月の相次ぐ台風の襲来でさとうきび等の

の農作物は大きな被害を受けました。年内操業実現はできずたものの基準糖度以下となつて価格は下落し、ハーベスター委託料や肥料代などを差し引くと赤字経営を余儀なくされているが、今後この台風常襲地帯でさとうきび産業を基幹作物として樹立していく上でも農家の営農意欲低下に繋がらないよう緊急支援対策等は考えられぬか問う。

自然災害対策事業（セーフティネット基金）の要請を検討

答

（経済課長） 相次ぐ台風で過去に例がない程の塩害がありました。2月27日現在、平均糖度が12・27度となつております。昨年同時期と比較すると13・66度となつており、農家手取り1トン当たり1900円の減収となつております。このような状況の中、現在徳之島さとうきび生産対策本部を通じ、「セーフティネット基金」の要請を検討しています。

政治理念と政治信念は



清平二議員

問

「すべての町民が主役のまちづくり」をスローガンとし、実現に向けて施策を掲げておりますが、大久保町長の政治理念と政治信念を伺う。

答

（町長） 伊仙町の各集落を活性化し沢山の子ども達と高齢者の方々が生き生きと暮らし、集落の敬老会、新年会、伝統文化を継承し、地域を盛り上げ生涯活躍のまちづくり、魅力あるまちづくりを目指します。

問

集落の活性化には、駐在員（区長）が必要と思うが現在、区長不在の集落はどう解決するのか。区長は、集落総会等で推薦された方を町長

が任命する方が集落の活性化が図られると思うが、基本的なところを伺う。

答

（町長） 条例通り町長が任命する。ただし、集落民の中から推薦等で出てくることもあり得るということです。しかし、基本的には町長が任命します。

要望

集落の発展と集落のまとめ役というのであれば、その集落の総会等にて推薦された方を区長として任命するよう条例改正を望みます。

IT化推進について

問

現在、各学校では使用できるパソコン、タブレット、プロジェクターが十分に備わっていてIT化推進が出来るのか問う。

答

（教育長） 平成30年2月28日現在、学校にあるパソコンは合計180台、タブレット1台、プロジェクター4

台が備品台帳に記載されています。しかし、基本ソフトも古く早急な入れ替えが必要な状況です。

問 パソコン180台というものは、すべてが稼働しているのか伺う。

今後5カ年計画で環境整備を

答 (教育長) 備品台帳に記載されているだけで180台すべてが使用できているという状況ではありません。今後IT化を推進するため、「伊仙町学校ICT環境整備5カ年計画」を策定し、順次取り組んでいきます。

要望 伊仙町を担う子ども達のために、教育予算は十分に確保していただくとともに、今後の教育予算の増額を要望します。

有害鳥獣対策について

問 有害鳥獣対策の現状と今後の対策について伺う。

答 (経済課長) イノシシ1頭当たり1万8千円で捕獲、駆除を猟友会にお願いしています。また、山手の方から年次計画し、イノシシ防護柵を設置中です。

クリーンセンターの今後は

問 徳之島愛ランドクリーンセンターの延命化の理由と何年延命するのか。また、そのことについて地域住民へ説明会をしたのか伺う。

答 (きゅらまち観光課長) 最終処分場は、耐用年数が15年との当初計画でしたが、現在の計画で焼却灰を埋め立てても、満杯になるまであと10年は余力が可能です。住民説明会については、(3月現在)まだ実施していません。

問 10年後には、天城町、徳之島町に設置するのか。また基金積み立てはどうするのか伺う。

答 (町長) 平成14年の申し合わせの中では、次が天

城町、その次が徳之島町の順で建設計画があったように聞いております。また、今後リサイクルセンター、焼却炉にするかは近日中に広域連合議会のほうで決定していかねければならないと思います。

要望 町長は伊仙町の顔であり代表者であります。町長が公平、公正、公明で私利私欲にとらわれないことなく行政に邁進していただき、伊仙町のかじ取り役として今後も頑張ってください。



徳之島愛ランド クリーンセンター



隣接する最終処分場

畜産振興について

問 平成30年度施政方針の中で、「品質の良い粗飼料生産を推奨し」とあるが、どのような粗飼料を考えているのか伺う。

答 (経済課長) 徳之島の温暖な気候を生かし、年2回収穫できる作付体系が確立できる飼料用トウモロコシ、現在盛んに粗飼料として栽培されているローズグラスについても適切な刈り取り時期及びサイレージ調整時期によっては、品質の良い粗飼料になるということを実証によって出ておりますので、そういった分を推進していきたい。



和英議員 牧本

問 徳之島3カ町の中でも畜産振興が遅れているが、今後の対策を問う。

答 (経済課長) 町単独事業としても、モバイルネットワークを利用した遠距離操作が可能な赤外線付き分岐監視カメラ、経年劣化によるスタンションやカウハッチ等の資材導入の補助。生産素牛保留や導入した際の助成金を1件当たり7万円を支給し飼養頭数の増頭を図っています。その他に国庫事業のクラスター事業を活用した機械導入や町有牛制度利用し、生産牛素牛導入、また奄美群島繁殖雌牛導入応援資金(JA牛)にかかるとり、他町と比べても見劣りすることは少ないものと思っております。

要望 徳之島町では、TMRセンターや受精卵移植など。天城町では振興会を通し、町全体で機械導入の取り組み

が盛んに行われております。今後の伊仙町を考えると、バレイショ農家さんに協力して頂き、年2回収穫できるトウモロコシ等を植えて頂き、低コストで高品質の粗飼料を確保するためにもコーンハーベスターと裁断ロールの機械を是非導入して頂きたいと思っております。

糖業振興について

問 近年サトウキビ植え付け面積が減少しているが、植え付け計画面積達成に対して最大限の取り組みが必要ではないかと思うが、町の考えを問う。

答 (経済課長) 今期の春植えにつきまして、糖業振興会が主体となり緩効性肥料「BB400」の3分2助成。また、毎年行っている堆肥センターの堆肥3分2助成を行っています。

問 今年是全体的に単収も少なく、農家収入は非常に厳しい状況ですので、農

家の皆さんへ堆肥助成事業の継続やドローンを使った薬剤散布等の助成も取り入れて頂きたい。また春植え準備や管理作業の遅れが課題となっているため、今後管理作業班の設置、畜産農家との連携、受け付けや作業料徴収等の仕組みづくりが出来ないか問う。

答 (経済課長) 農家の高齢化に伴い、管理作業ができない農家さんが増えているということで、サトウキビに関して、単収向上対策委員会を開きました。その中で受託班を募集し、管理作業の請負ができないか、現在検討しているところです。

問 ハーベスター収穫や管理コストが増加し、農家取り扱い価格が大変少なくなっているが、今後の交付金引き上げ要望等について問う。

答 (経済課長) 先般、野菜・果樹・畑作等対策委員会の国会議員の先生方が

来島された折に、各団体と島

の厳しい状況について意見交換会を行いました。この中で、農家経営への影響が大きいため、今期の糖度低下への次年度対策の支援強化、充実、後継者育成、生産者の意欲向上への交付金単価設定などについて要望をいたしました。

(町長) この地域の特別重要な作物であるということも今後も訴え続け、議員大会や町村会、また国会議員の先生方に何度も要望していくことで効果があるのではないかと考えます。



さとうきび植付け作業

予算執行について

問 平成28年度事業において、地方創生交付金を活用した社会教育課の多世代機能拡張備品購入事業で納められるべき備品が納入されないまま購入代金だけが支払われ、国の地方創生交付金も全額交付決定を受けているように、しかも、平成28年度一般会計歳入歳出決算書でも事業は完了している状態のようだが、これは事実か問う。

答 (教育長) 納められるべき備品が納入されないまま代金の支払いが行われたことは事実です。このような結果となったことは、所属長しても誠に遺憾であり、深く反省しております。



佐田 元議員

また、今後解決に向けて誠心誠意対処していくとともに、二度と同様の事案が起きないように再発防止を講じていく所存です。

問 全備品が納品されたという

事になっているようだが、この検査は誰がされたのか問う。また、平成28年第4回定例会(12月)において、本事業に関する補正予算が可決されているようだが、なぜ備品購入が3月に行われたのか問う。

答 (社会教育課長) 検査は、前課長がされており、購入が3月になった理由としては、多世代交流ということで、子どもからお年寄りまで使えるよう各スポーツ少年団、包括支援センター、子育ての方たちと商品の選定を行ったためです。

問 納入期限が平成29年3月30日となっております

の時点で納入されていない物品があるということが判明しているが、なぜその後の4月3日に入金したのか問う。

答

(社会教育課長) 年度末ということ受注者側からの申し出により支払いを行ったということ。

町長の見解は

問 この件に関し、行政のトップとしての見解を伺う。

答

(町長) この件に関しては、昨年6月に当時の社会教育課長から報告を受けました。その後、頑張つて業者が備品を納入できるようにやっております。そして、何とか今年度中に納入できることを私は強く期待しているところです。

監査結果について

問 監査委員は、この件について監査を実施し、把握していたのか問う。

答

(代表監査委員) 昨年11月に備品台帳を確認したが、記載がなかったため、出納検査において当時の社会教育課長に事実確認を行い説明を受ける中で備品が未納であることが分かった。その後12月に社会教育課長より顛末書が提出されたが、経緯のみが強調され、今後の具体的な対策が不十分であったので、再度この補助事業費の返納を含めて指摘し、早急な対策を指示した。本年2月末にも報告書が提出されたが、再度早急な今後の対策の実施を伝えた。再三指摘しているところですが、本件は担当課長と執行部において法に基づいた対応処置を行うことが当然であると考えております。

問

先ほど、町長は昨年6月に報告を受けたという事だが、この日に受注者と卸業者と三者協議されていますが、どのような協議をされたのか。また、この件は二者間の問題であって、町長がそこに入って協議する必要があったのか問う。

答

(町長) 早急に解決するように、町長としてお願いです。これは問題ないと考えておりますし、これは発注者と発注元の話聞いたというだけの状況ありますので、知る余地もなかったわけでありませう。



伊仙町総合体育館

ほーらい館の今後の運営方針は

問

平成20年に開館した徳之島交流ひろば「ほーらい館」は、開館以来、町民の健康増進、地域交流の拠点として今では伊仙町、また徳之島になくてはならない施設だと考へるが、今後の会員増に向けた取り組みと、運営方針について問う。

答

(ほーらい館長) 3月4日現在の会員数は518名、1日の利用者数は400名程と横ばいを推移している状況です。

今後、利用客と会員数を増やす工夫として、新たにリハビリ等の必要な方へのプログラム



前 徹志議員

メニューを取り入れ、利用者が感心を寄せられるような教室等も企画し、楽しく健康増進に取り組める施設を目指しスタッフ全員で取り組んでまいります。また、10周年を機に、利用料金の改定をし、ほーらい館運営に対応していきたいと思ひます。

(町長) ほーらい館は町の施設でありますので、今後は町職員も自分の事だと思つて、施設の経営に参加するような意識を醸成していくことは、会員増に結びついていくし、家族や友人、知人の方々にほーらい館で健康増進をやっていきましよう、そして健康長寿のまちのシンボルだという形でお願ひできるような気運づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

町長

ほーらい館の利用料は日本一安いと言つても過言ではないと思ひます。しかしただ料金を上げるのではなく、私たち議会を含め、役場職員や臨時職員が約260名いますの

で、一人一人が営業マンとなり、一人ずつ会員を増やしていけば、当初の目標であった1000人は必ず達成できるものと思うのでぜひ努力していただきたい。

学校施設について

問

町内8小学校中4校、3中学校は全て改築されているが、築50年を経過し耐震基準値以下である施設、または現在使用されていない教職員住宅は何箇所あるのか、今後の対応も含めて問う。

答

(教委総務課長) 平成22年度調査において、耐震基準値以下である施設は1箇所でした。しかし、調査以降7年以上経過しており、老朽化がさらに進み、爆裂等による危険を感じる箇所が多数ございます。また、使用されていない教職員住宅は現在11箇所ありまして、これらの教育関係施設には、平成30年度当初予算において、修繕費を計上しており、順次対応していく予定です。そして立替えが必要な喜念小、鹿浦小、阿権小、馬根小や、各学

校の施設、また、教職員住宅の整備計画を総合的に話し合う「伊仙町教育環境整備検討委員会」を新年度より発足し、協議していく予定です。

(町長) 小規模校が遅れている理由として、10年以上前に、県の集中改革プランの中で、小規模校は今後統廃合していくという方針があり、伊仙町は中学校1つ、小学校3つという内容でありました。

しかし、伊仙町は何があっても小規模校を残していくという方針を明確にいたしました。そのような状況で小規模校の校舍改築が遅れていました。

未来を担う子どもたちに対して非常に申し訳ないという気持ちでありますので、今後全力で取り組んでまいりたいと考えております。

泉重千代翁33回忌法要祭について

問

伊仙町の第1号名誉町民である「泉重千代翁33回忌法要祭」を阿三集落において予定されています。

長寿世界一として、ギネス

ブックにも掲載された事もあり、「長寿子宝のまち」として発信できる原点であると言っても過言ではないと考えるが、町としてどのような対応ができるのか問う。

答

(町長) 今回の法要祭に關して、実行委員の方から私の方にも協力していただきたい旨の連絡がありました。その中で関東、中部、関西の出身の方々と協力してやっていくという形で、みずから募金活動を行っている状況でございます。現在、泉重千代翁の銅像には毎日のように観光バスも来ておりますし、今回の法要祭を起点として、長寿世界一、子宝日本一の原点でありますので、町としてもできるだけ協力をし、盛り上げて行きたいと考えております。



東部地区への認可保育所設置について



永田 誠議員

問

現況及び今後の取り組みや課題を問う。併せてへき地保育の今後について問う。

答

(町民生活課長) 現在、課内で協議中であります。事業者側が県の認可認定が必要なので、今後県の方とも協議していく必要があります。現時点の計画では、面縄コミュニティセンターの空き地に事業者側で増設と考えています。また、現在あるへき地保育所について、平成32年度より保育施設での給食施設サービスが始まるため、平成31年度末で閉園の予定です。雇用面では、役場の方で

希望者がいれば雇用の確保を執行部と話し合っていくと考えています。

要望

我が子も認可保育園に通い早朝から多様多様な保育内容、栄養バランスのとれた給食で心身ともにたくましく育てていただきましたので、東部地区にも是非認可保育園を設置していただきたい。

問

幼稚園を含め保育士不足を耳にするが、その対策や超過勤務等の対応は適切にできているのか問う。そして、若い人たちが安心して子どもを出産し、預けられるよう保育士確保、また若い世代のUターン者確保の観点から、看護師のお礼奉公制度のような伊仙町独自の取り組みはできないか問う。

答

(町民生活課長) 認可保育園では、保育士が休みの時など人員が不足となっているようです。また保

育士の確保に関しては、保育園独自に大学等に赴き、求人活動を行っているようです。

保育士の時間外勤務に関しては、報告はなく代休措置で対応していると思われます。

(教委総務課長) 幼稚園の預かり保育に関しては、昨年1学期に保育士不足の時期がありました。追加募集を行いました。現在は解消しています。また保育士の急な休みなどの緊急時には、教育委員会に幼稚園教諭の資格を持った職員がいまのでそちらで対応しています。

(総務課長) 奉公制度については制度内容を調べ今後検討していきたいと思っています。

学校建築に関して

問 次期建設予定となっている喜念小学校の今後の取り組みについて伺う。

早急に検討したい

答

(教委総務課長) 喜念小学校を含め4つの小規模校の老朽化が進んで

おります。その中でも喜念小学校が一番古く、次が鹿浦小学校となっております。4月より「伊仙町教育環境整備検討委員会」を早急に立ち上げ、まずは現状を把握し、ローコストハイクオリティで取り組んでいきたいと思っております。また集落からのご意見・ご要望や集落出身者の意気込み等も関与していきまますので、それらを踏まえながら進めていきたいと思っております。



喜念小学校

～お詫びとお知らせ～

平成30年第1回伊仙町議会定例会（3月議会）会期中に、USTREAMへの接続トラブルが発生し、議会中継の配信ができない状態となり、日頃より伊仙町議会中継をご試聴の皆様へご迷惑おかけしました事を深くお詫び申し上げます。

第2回定例会（6月議会）より、新たにYouTube Liveでの議会中継配信へ変わりますので、町民の皆様並びに議会中継をご試聴の皆様のご理解を宜しくお願い致します。なお、平成30年第2回定例会は6月12日（火）開会予定となっておりますので、ぜひ、議場での傍聴、または議会中継ご試聴のほど宜しくお願いいたします。

※議会中継の視聴方法はこれまでと同じく、伊仙町公式ホームページ内「伊仙町議会中継」をクリックするとご覧いただけます。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

電話番号86-3111（内線16番）



第61回 奄美群島市町村議会議員大会



提案理由の説明をする美島議長

去る5月16日(水)、徳之島町(徳之島農協2階ホール)において、第61回奄美群島市町村議会議員大会が開催されました。大会では、大島郡内各市町村(5ブロック)や議長会から全8件の議題が提出され、すべて採択されました。徳之島地区においては3町を代表し、天城町議会建設経済厚生常任委員長の秋田議員より「平土野港多機能港湾新設整備について」の提案理由説明がなされました。

また、議長会提出による「さとうきびの販売価格・国の政策支援価格の引上げ、基準糖度・基準糖度帯の引下げについて」議長会を代表し、伊仙町議会美島議長が力強く要望いたしました。



守屋成一氏による講演



大会終了後の懇親会も大盛況でした

徳之島3カ町議会議員連絡協議会における奉仕作業

去る4月7日(土)に開催されました、「第51回戦艦大和を旗艦とする戦没将士慰霊祭」を前に、会場となる犬田布岬において、4月3日(火)徳之島3カ町議連による清掃作業を行いました。今後とも三カ町一体となり、この活動を継続してまいります。



議会の動き

平成30年第1回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)
 動静期間:平成29年第4回定例会(12月8日)以降の分

月	日	行事名	場所	月	日	行事名	場所	
12月	17日	面縄貝塚シンポジウム	面縄小学校	2月	1日	議会議員懇談会	委員会室	
	18日	伊仙町耐震改修促進計画策定委員会	委員会室		5日	春植え出発式	伊仙町役場前	
	21日	徳之島三カ町議会議員連絡協議会議長打合せ会	徳之島町役場		6日	平成30年第1回臨時会		
1月	2日	平成30年成人式	ほーらい館		9日	徳之島三カ町議会議員連絡協議会役員会	徳之島町役場	
	4日	消防出初式	伊仙中学校		14日	直方市議会議員視察	伊仙町	
	7日	伊仙町商工会スタンプ会抽選会	ほーらい館		15日	徳之島三カ町議会議員大会	徳之島町	
	9日	青年会議所主催賀詞交歓会	徳之島町		20日	鹿児島県町村議会議長会総会	鹿児島市	
	19日	伊仙町耐震改修促進計画策定委員会	委員会室			鹿児島県離島振興市町村議会議長会総会	鹿児島市	
		徳之島観光協会新年会	天城町		25日	第8回島口大会	ほーらい館	
	26日	奄美群島振興開発総合調査に係る第3回奄美選出県議会議員・市町村長・議会議長意見交換会	奄美市		27日	大島郡議会議長会総会	奄美市	
	28日	伊仙町議会議員選挙投票日	伊仙町		28日	議会運営委員会	委員会室	
	29日	徳之島3町議会議長による郡選出県議会議員への要請活動	県庁		3月	1日	樟南第二高等学校卒業式	天城町
	30日	議会議員研修会	鹿児島市			2日	奄美群島国立公園づくり計画を考える伊仙町意見交換会	ほーらい館
						6日	平成30年第1回定例会開会	

※ 掲載されている行事以外にも、紙面の都合で記載されていないものもありますので、予めご了承下さい。

編集後記

清々しい初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってきました。町民の皆様におかれましては、なお一層お健やかに過ごしのことと存じております。

さて新年度スタートから早くも2ヶ月が過ぎ、議会だより「いせん」第58号発行を迎えました。

現状の議会活動を町民の皆様周知する方法として広報を発行することが最も有効であるわけですが、広報活動の一番の狙い(目的)は、どこまでも住民にとって「自分たちの議会」という参加意識が持てるような、開かれたガラス張りの議会広報を心がけるべきであり、またそれが「開かれた議会」を目指すことになるからです。

決して、行政的用語や行政的文字が多すぎる事のない住民目線の行政を意識した分りやすく、読みやすい広報編集活動を、新議会広報編集委員メンバー一丸となり、誠心誠意努めてまいります。

最後に、議会だより「いせん」は、3月、6月、9月、12月の年4回の発行となります。伊仙町議会と皆様をつなぐ最良の手段にしたいと願いを込めて編集を行ってまいりますので、今後とも宜しくお願いたします。また、引き続き、町議会の広報活動に対しまして、町民の皆様のご意見等お寄せいただければ幸いと存じます。

(文責 杉山 肇)

議会広報編集委員会

委員長 前 徹志
 副委員長 杉山 肇
 委員 福留 達也
 委員 上木 千恵造
 委員 佐田 元